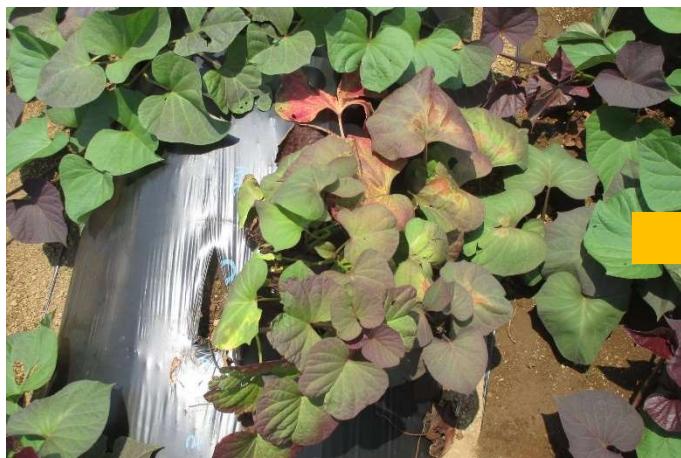


さつまいも農家の皆様へ  
ほ場を見回り、株の基部が黒い場合は、早急に抜き取って、ほ場の外へ持ち出して下さい。

【基腐病の症状】周囲の株と比べ、しおれている。株全体が赤変、黄変する。



基部が黒変



露地では、茎の途中からも黒変

- ・通路まで茎が覆うと、しおれにくい。
- ・葉色と、株基部や茎の途中の黒変で判断する。



## 【基腐病以外の病害(つる割病)の症状】



- ・茎が縦に裂けたり、空洞となる。
- ・基腐病と併発することもある。
- ・つる割病も土壤伝染するため、抜き取る。

## 【生理的な症状】



下葉は枯れているが、基部は黒変していない

## 【排水対策・残さいもの処理】

### <排水状況の確認>



### <野良いも除去>



- ・さつまいも基腐病が発生しているほ場があります。
- ・ほ場を巡回し、発病株をただちに抜き取ってください。
- ・発病株の抜き取り後は、ほ植を行わないでください。
- ・定植5週目にアミスターを、その後はZボルドーと交互に散布して下さい。

アミスター20フロアブル: 2000倍、収穫14日前まで、使用回数3回まで

Zボルドー水和剤: 500倍、収穫前日まで、散布回数制限なし

- ・降雨直後に、ほ場を巡回し、排水状況を確認して下さい。

- ・ほ場内と周辺に野良いもが発生しています。イモごと抜き取って下さい。

## 【基腐病対策】①早めの抜き取り ②排水対策 ③殺菌剤散布